

台風13号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり強い台風13号が明日5日午後にも沖縄に接近、その後東シナ海を北上する進路が予想されております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風13号の進路予測

9月2日に台風13号、3日に台風14号と9月に入り立て続けに2つの台風が発生しました。(現在、台風14号は熱帯低気圧に変わりました。)

9月4日午前5時15分の気象庁予報部発表によると、台風13号は4日午前3時には石垣島の南位置し、15km/hの速さで北へ進んでいます。中心の気圧は980hpa、中心付近の最大風速は35m、最大瞬間風速は50mで、中心から半径110km以内では風速25m以上の暴風となっています。

台風13号は発達しながら先島諸島の南を北上、暴風域を伴って5日午後、先島諸島にかなり接近した後、7日にかけて東シナ海を北上する見込みです。



台風13号の進路予測 (9/4 午前9時気象庁発表)

2. 気象予想

台風13号の影響により、沖縄では本日4日から暴風や大雨となる恐れがあります。

また、台風に向かって南東の湿った空気が吹き込むことにより、台風の右側に位置することとなる九州や四国の太平洋側は雨の強まる見込みです。

日本の南東の海上、ウェーク島近海には、更に別の熱帯低気圧が発生しており、その動向も注目されています。現時点での各国のシミュレーションには、今後この熱帯低気圧は発達しながら本州の南へ進み、来週初め頃に日本に接近する予想が含まれており、油断が出来ません。

3. 事前の対策について

右図は、昨年近畿地方を中心に暴風や高潮等をもたらした台風21号・24号が近畿地方を縦断した際の大阪と神戸の潮位です。

天文潮位(予測値)は100cmを下回っていたにもかかわらず、実際の最高潮位は大阪で329cmと、瞬間値ではかなり高い潮位を観測しており、台風襲来時の高潮リスクの大きさを示す結果となりました。

台風	大阪		神戸	
	21号	24号	21号	24号
天文潮位	52cm	53cm	52cm	56cm
最高潮位	329cm	131cm	233cm	126cm
偏差	277cm	78cm	181cm	70cm

台風対策の基本は、風雨からの『遮断』と浸水に対する『高所避難』となります。台風到来直前の主なチェックポイントと対策をご紹介します。併せて、**現場用点検チェックシート**を添付致しましたのでご活用下さい。

<気象情報と事前対応>

- ✓ 気象情報をこまめに取得し、過去の災害事例などと共に関係者と共有する
- ✓ どのタイミングで何をするのか、具体的な事前対応について再確認する

<屋内保管貨物>

- ✓ 「ネステナー」「パレットサポート」などを活用して貨物を嵩上げする高層ラックにおいては、高い棚に貨物をはい替える
- ✓ 倉庫2階やメザニンなどの高所に貨物を避難させる
- ✓ 空きトラックの荷台に貨物を避難する
- ✓ 近隣に安全な倉庫がある場合は重要貨物を避難させる

<屋外保管貨物>

- ✓ 可能な限り貨物を屋内へ避難させる
- ✓ やむを得ず屋外保管をする場合は、屋外のなかで最も地盤高が高く、強風や波を直接受けない安全な場所へ移動させる
- ✓ 防水シートやカバーで保護し、強風で飛ばないように、貨物・防水シート・カバーは強固に固定する

<倉庫・設備>

- ✓ 建物開口部から浸水しないよう止水装置を設置する
- ✓ 排水溝を清掃し、排水能力を確保する
- ✓ 電気系統などの重要な設備は厳重に止水対策を講じる
- ✓ 窓・扉等の開口部の内側を養生する
- ✓ エレベーターなどを2階以上に移動させておく

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html



【出典】 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。